

野津田公園 スケートパーク 基本設計説明会

日時：2024年11月14日（木）

19：00～20：00

会場：町田GIONスタジアム

会議室 3～5



次第

19 : 00 開会

- 1 開会挨拶**
- 2 事務局紹介**
- 3 事業計画概要説明 (P- 1 ~ 2)**
- 4 計画地の概要説明 (P- 3 ~ 4)**
- 5 基本設計について (P- 5 ~ 15)**
- 6 今後のスケジュール (P-16)**
- 7 質疑応答**

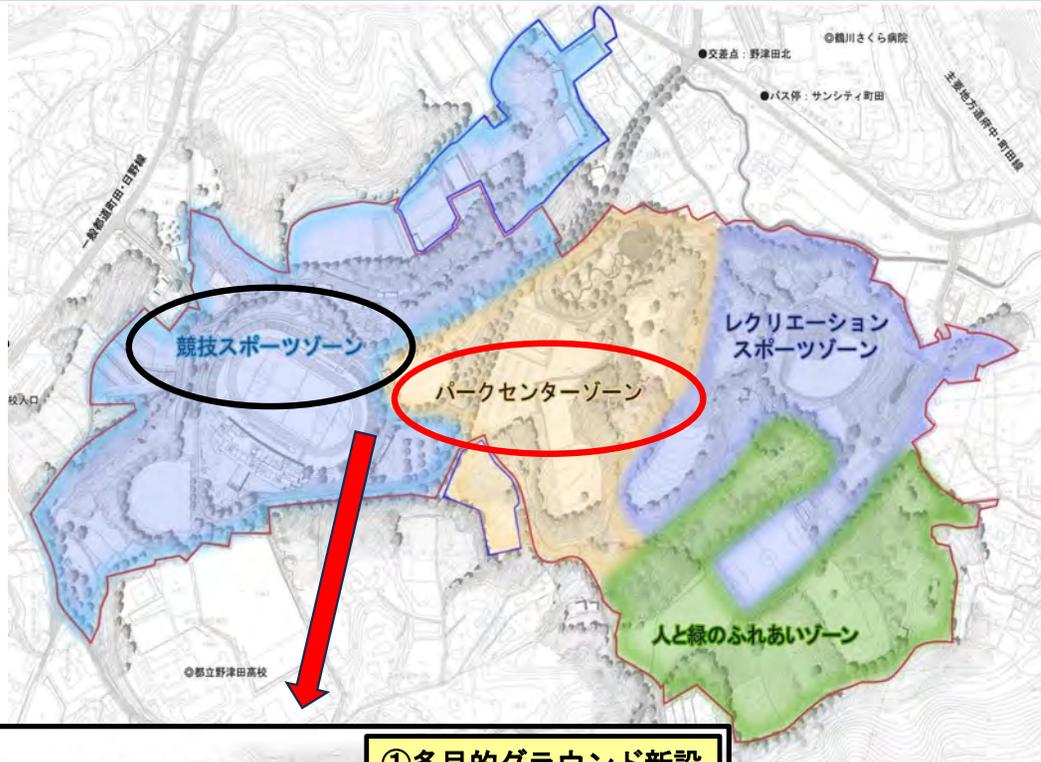
20 : 00 閉会

整備計画の変遷

1981年12月	町田市都市計画 野津田公園基本構想 <ul style="list-style-type: none">・公認、公式の各種スポーツ大会ができる運動施設の整備・芝生広場や遊歩道、展望台などの「憩いの場」の整備
1987年3月	町田市都市計画 野津田公園基本計画 <ul style="list-style-type: none">・多くの市民が渴望している都市規模にふさわしい、スポーツ施設を中心とした「総合公園」とする。・緑豊かな自然と調和した公園とする。
1990年10月	第1期整備区域 開園 <ul style="list-style-type: none">・西側の約16.4haを開園
1993年3月	町田市都市計画 野津田公園基本計画（第2期整備計画） <ul style="list-style-type: none">・総合体育館やテニスコート（成瀬地区）、野球場（鶴川地区）の新設などスポーツ施設整備充実に伴う導入施設の見直し・周辺の道路整備等による公園への進入路の見直し・公園内の自然や郷土の文化等を生かした公園の整備・雑木林の保全 など
2014年5月	町田市第二次野津田公園整備基本計画 <ul style="list-style-type: none">・計画目標 「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」・整備方針 「競技スポーツから健康スポーツまで幅広い活動が楽しめる公園づくり」



第二次野津田公園整備基本計画（2014年制定）に基づき、2024年度は雨水調整池内にスケートパークを整備する基本設計を取りまとめます。



◆整備概要

・野津田公園

約40haの面積を有し、市内で唯一の陸上競技場がある最大規模の総合公園

・2023年度までに行った主な整備事業

主に「競技スポーツゾーン」の整備を行い

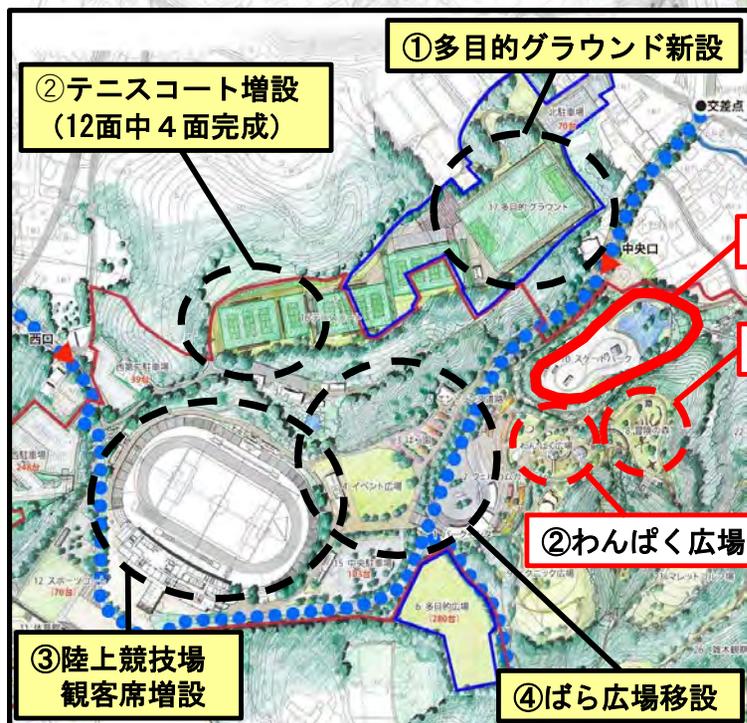
- ①多目的グラウンド新設
- ②テニスコート増設
- ③陸上競技場の観客席増設
- ④ばら広場移設

・2024年度以降の整備計画

「パークセンターゾーン」を対象に市民ニーズの高い

- ①スケートパーク
 - ②わんぱく広場
 - ③冒険の森
- を段階的に整備する予定です。

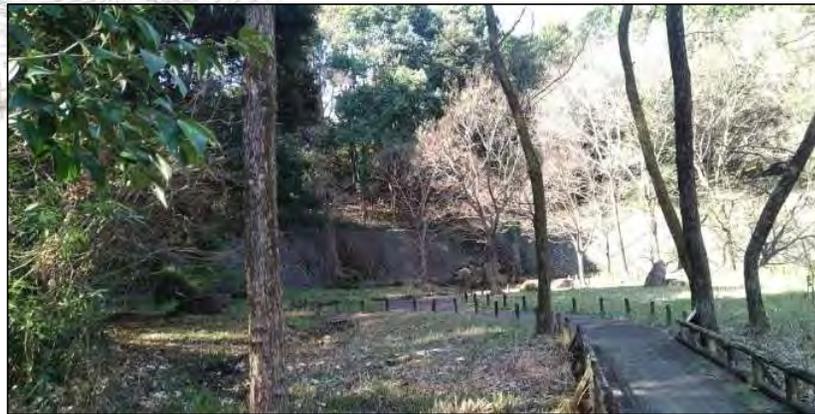
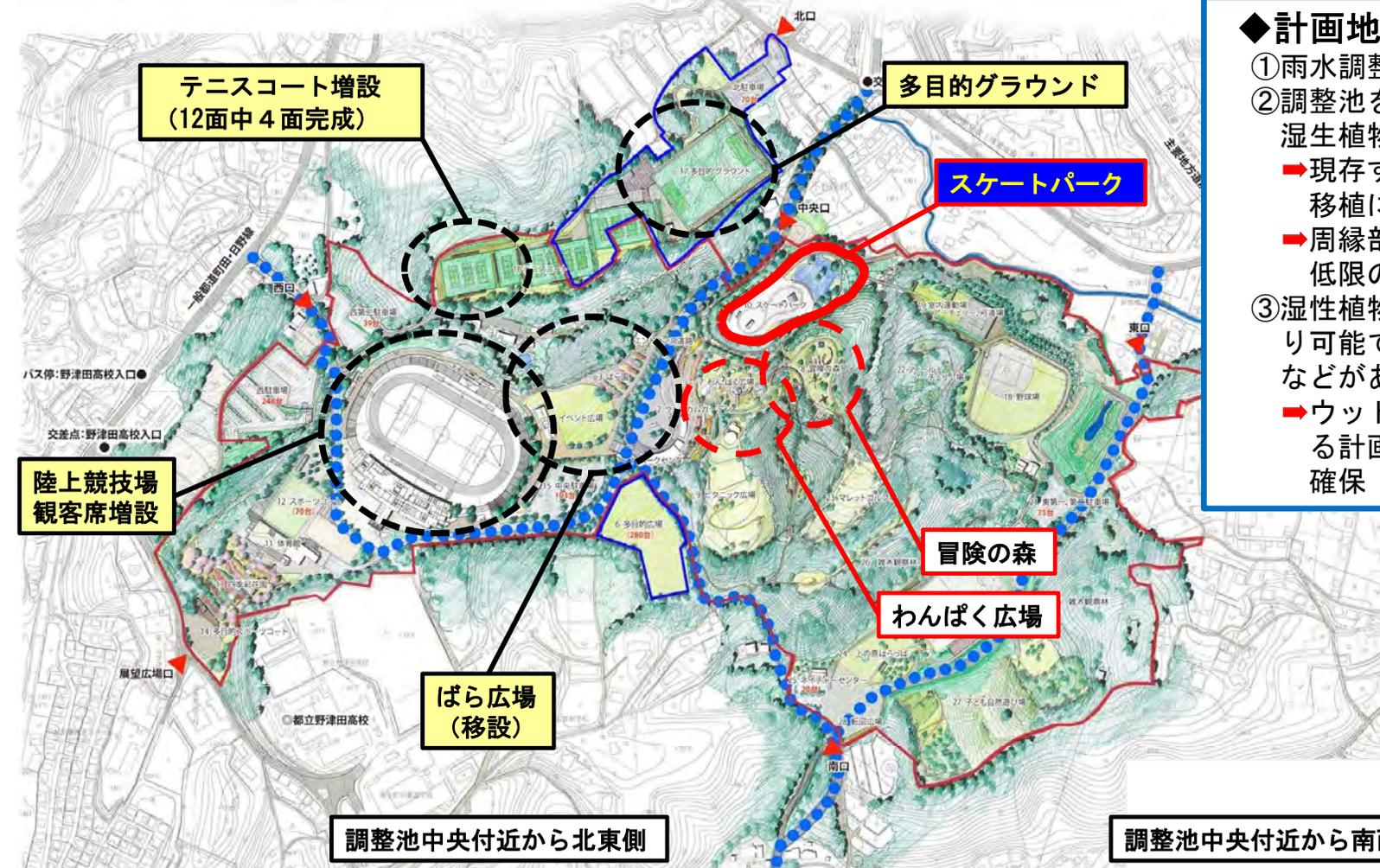
2024年度は雨水調整池内に「スケートパーク」を整備する基本設計を取りまとめます。



- ・基本設計：導入予定施設、その仕様を決定するための設計とレイアウト設計を行い、概算工事費を算出する基礎資料を作成します。
- ・実施設計：基本設計を基に、導入予定施設や造成の詳細な部分の設計を行い、工事発注図書として取りまとめ、工事費を算出する基礎資料を作成します。

◆計画地の概要

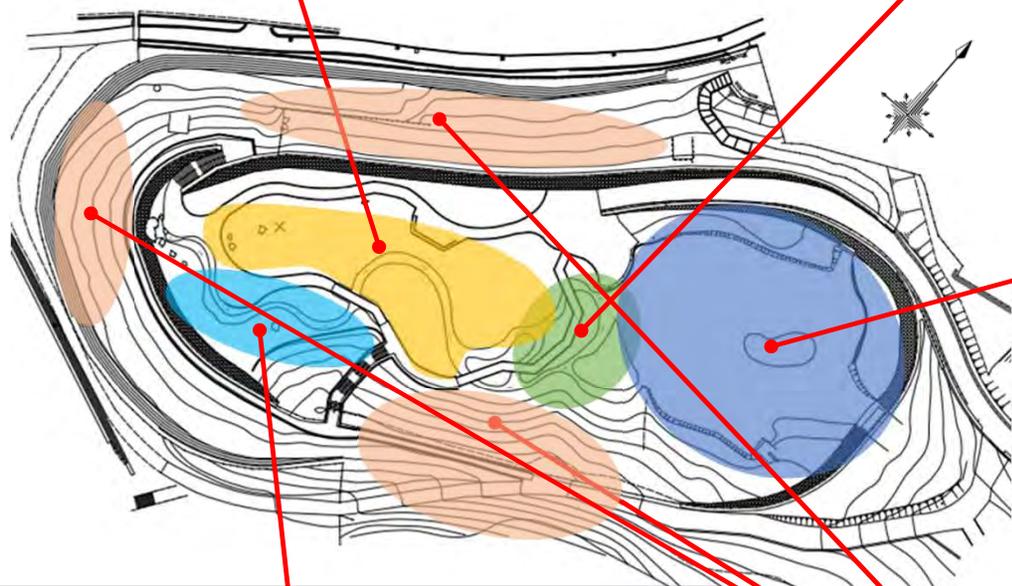
- ①雨水調整池内の池底部約5,500m²
- ②調整池を有効活用するため、
湿生植物園として開放中。
 - ➡現存する希少種などは場内での移植に努める。
 - ➡周縁部の大径木や高木などは必要最低限の伐採、下枝打ちに留める。
- ③湿性植物園は公園内外から自由に入
り可能であり、ウッドデッキの散策路
などがある。
 - ➡ウッドデッキなどはリニューアルす
る計画だが、現在の動線機能などは
確保（踏襲）する。



中央部の草地



修景池と湿地帯



北東部の修景池と湿地帯



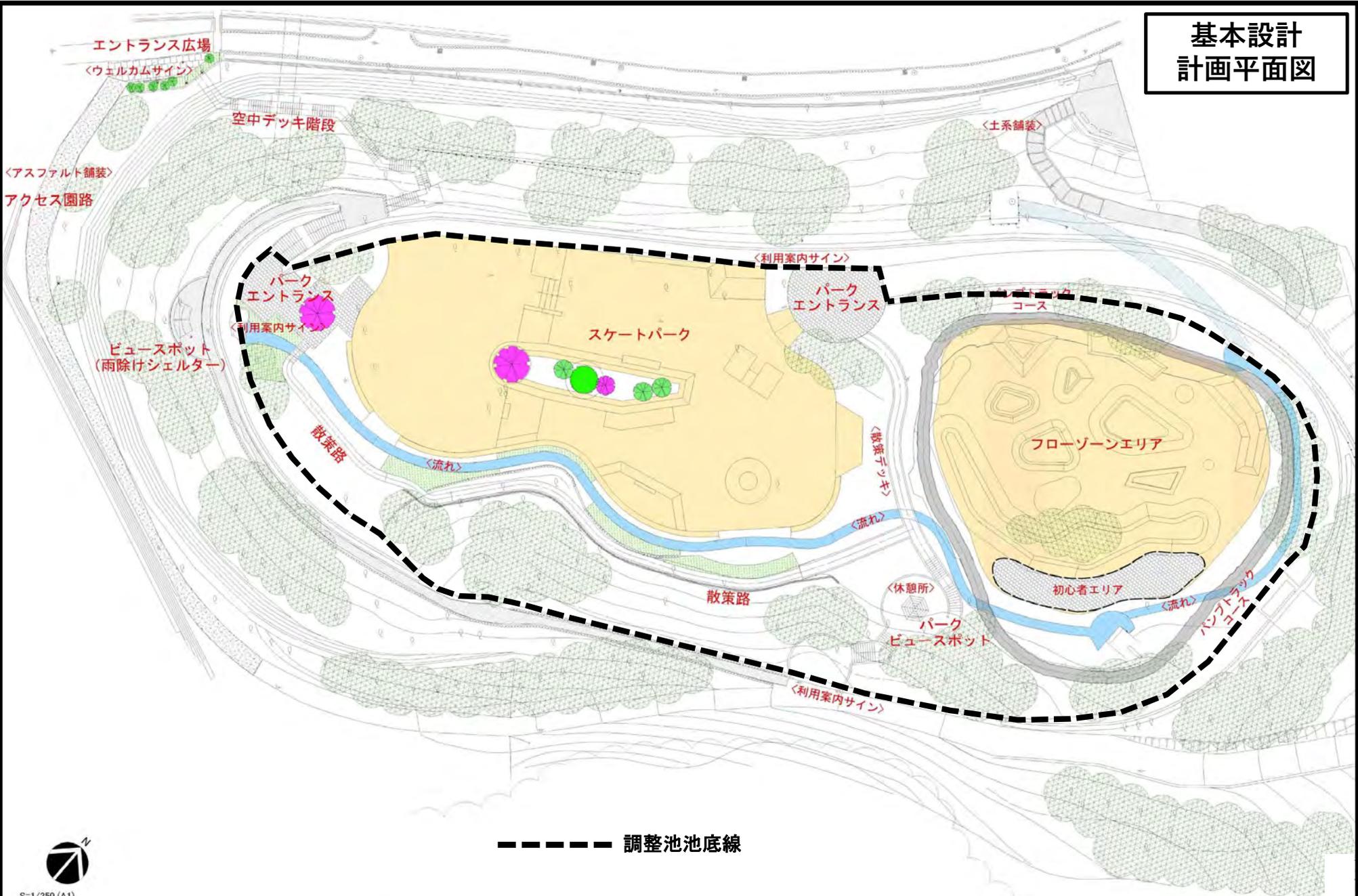
南西部の流路と散策路（ボードウォーク）



周縁部の斜面林と大径木

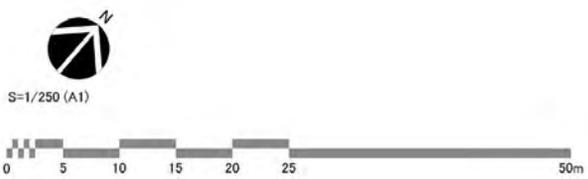


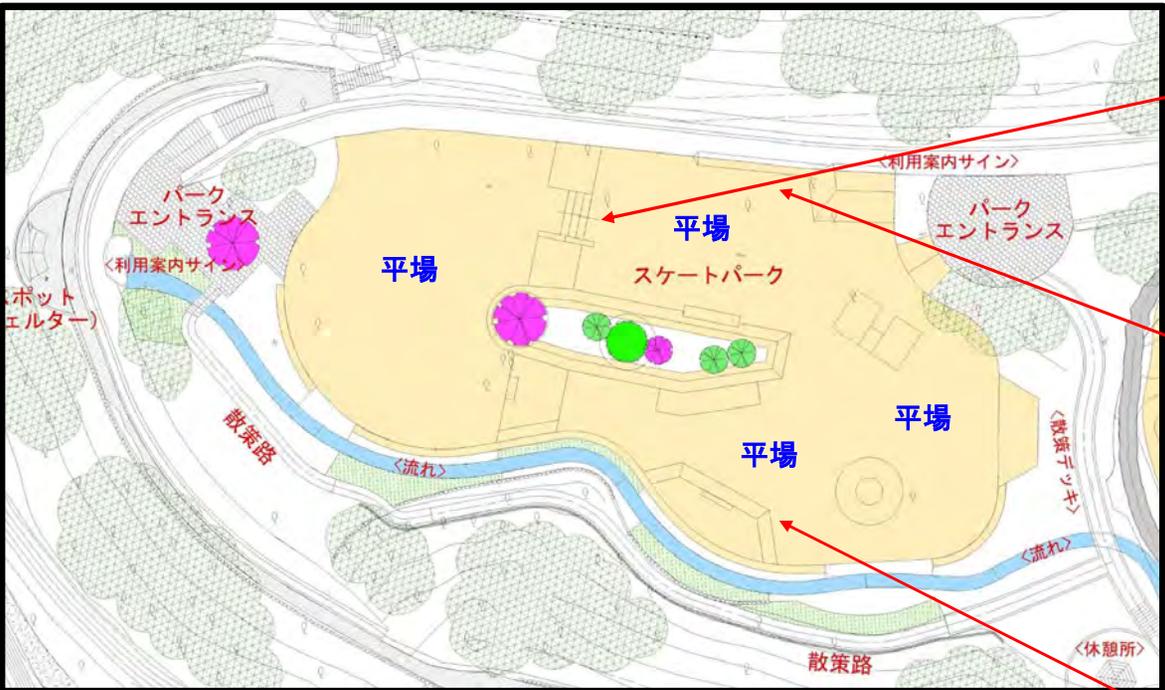
基本設計 計画平面図



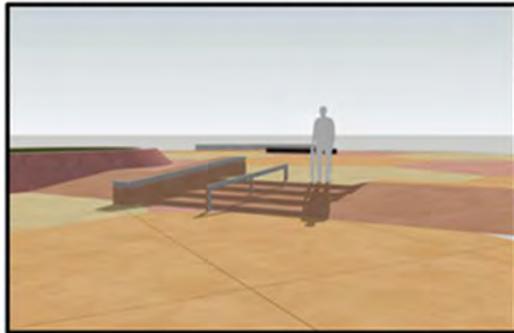
----- 調整池池底線

※図面は2024年11月時点のものであり、今後の設計で変更となる可能性があります。

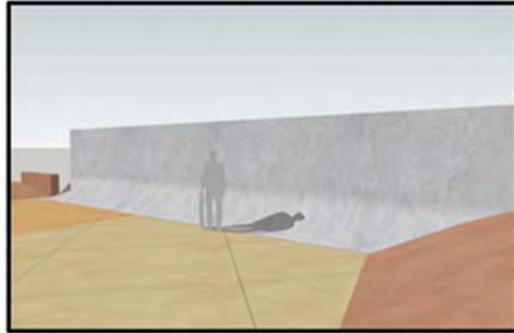




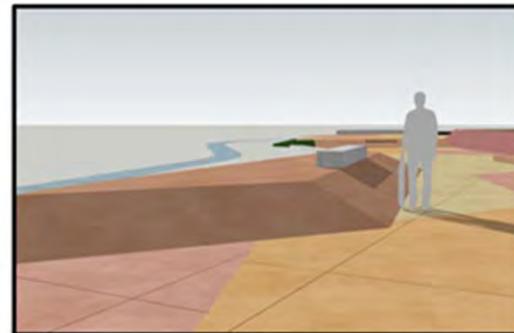
ステアセクションイメージ



ウォールセクションイメージ



バンクセクションイメージ



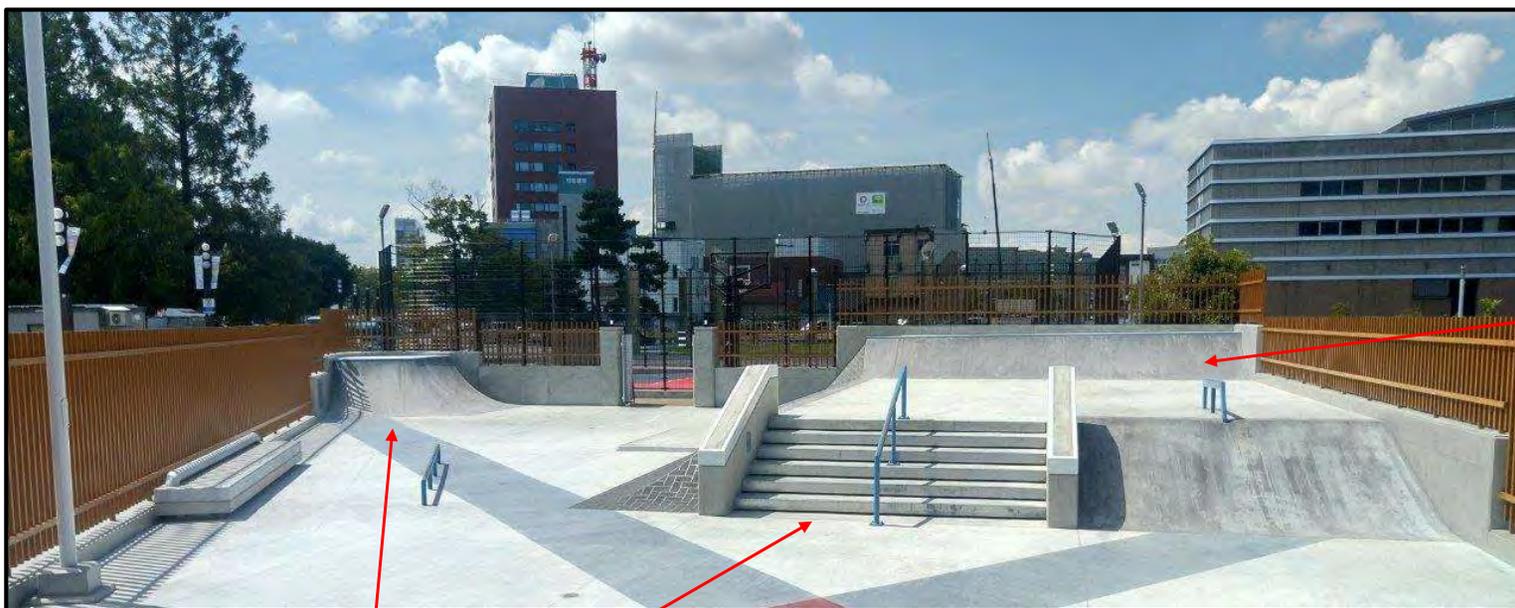
※子どもや初級者が楽しめる、練習しやすい平場

◆スケートパーク主な導入予定施設（セクション）

主な導入予定施設（セクション）は、

「ステアセクション」、「ウォールセクション」、「バンクセクション」である。

その他にも導入予定施設は計画しているが、今後、設計をさらに進める中で、専門家との意見交換を重ね、変更となる可能性がある。また、子どもや初級者でも十分に楽しめるよう、平場を多く設けている。



ウォールセクション

ステアセクション

バンクセクション





米国(ニューヨーク州)：リバーサイドスケートパーク

◆スケートパーク参考類似事例

野津田公園スケートパーク（スケートパーク・フローゾーン）の近隣市区町村のスケートパークにはない「セールスポイント」は、谷型の地形で、周囲を斜面林に囲まれた、町田地域の原風景の一つでもある谷戸地形にも似た緑豊かな空間にあるスケートパークである。

基本設計 計画平面図



※図面は2024年11月時点のものであり、今後の設計で変更となる可能性があります。

◆フローゾーン概要

- ・ 多様な競技種目が利用でき、多くの人（さまざまな人）が同時に利用できる施設。
- ・ 小さな凹凸や滑走路、平場をランダムに配置し、キックボード、キックバイク、BMXなどで足漕ぎや重心移動によって、自由に滑走する施設。利用者（競技者）が水の流れ（FLOW）のようにスムーズに移動する様子から、フローゾーンと呼ばれている。
- ・ 初心者、初めての方でも安全に利用（練習）できるよう、初心者エリアを設置。

①面積：約2,300㎡

②舗装仕上げ：現場打ちコンクリート（カラーコンクリートとし、周辺景観に馴染む色彩する。）
：平板タイル舗装等

③構造物：コンクリート造

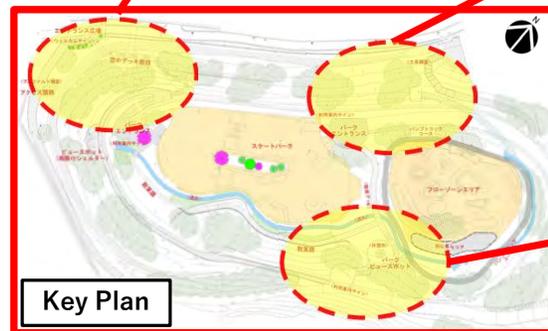
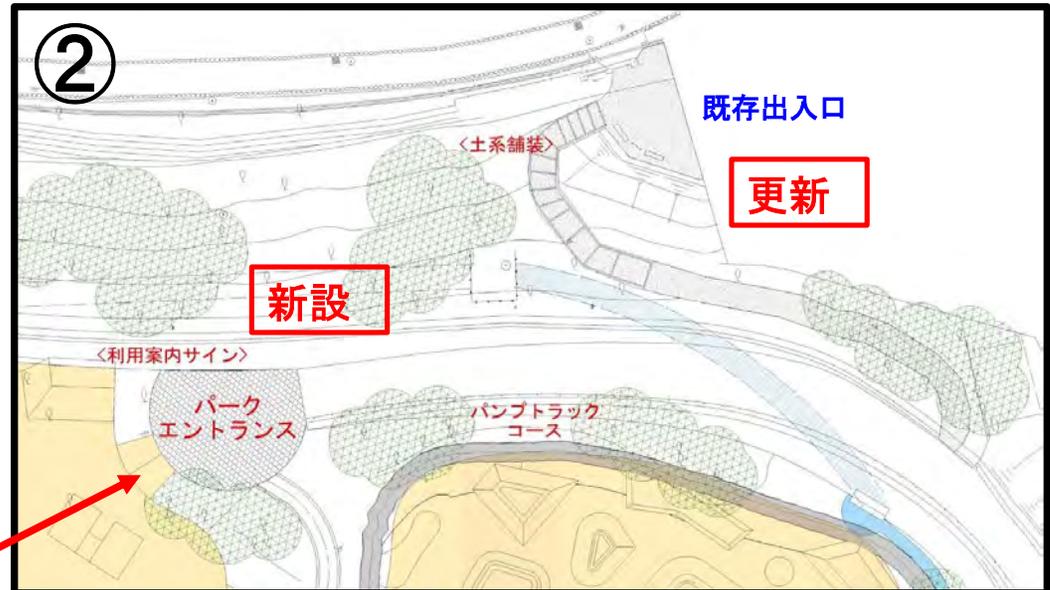
米国(ワシントン州) : サニーサイドスケートパーク



◆フローゾーン

フローゾーンは国内での整備実績がほとんどない施設である。

近隣市区町村のスケートパークにも全くなく、関東でも千葉県野田市に1施設存在するのみで、野津田公園の大きな「セールスポイント」の一つとなる。前頁でも述べたが、小さな凹凸や滑走路、平場をランダムに配置し、キックボード、キックバイク、BMXなどで足漕ぎや重心移動によって、自由に滑走することができる施設である。外周部にはキックバイクや、BMXで周回できるトラックコースを設けている。



◆公園施設・設備計画

- ・ 利便性向上のため出入口を1箇所新設し、周縁部の大径木を必要最低限の伐採、下枝打ちに留め、デッキ階段、アクセス園路をスケートパークへのアクセス路として計画する。
- ・ 利便性向上のため夜間照明や競技者の競技映像を確認・楽しむことが出来る映像設備を計画する。

①園路・階段：ウッドデッキ階段、平板タイル舗装、土系舗装等（周辺景観に馴染む色彩のもの）

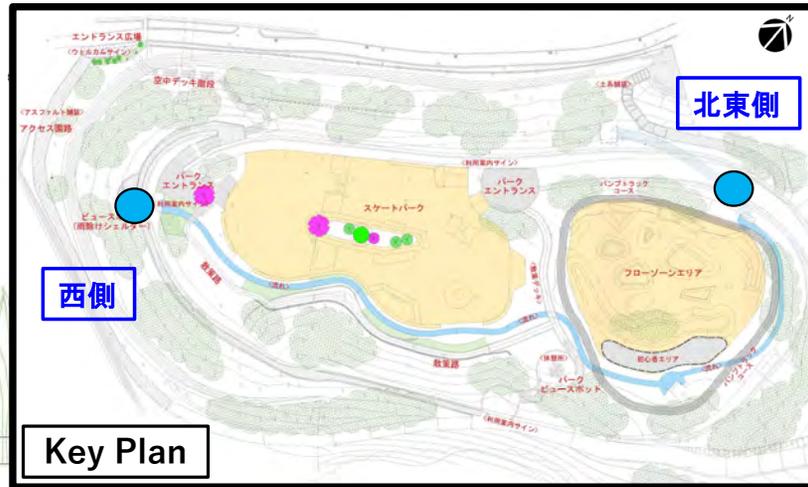
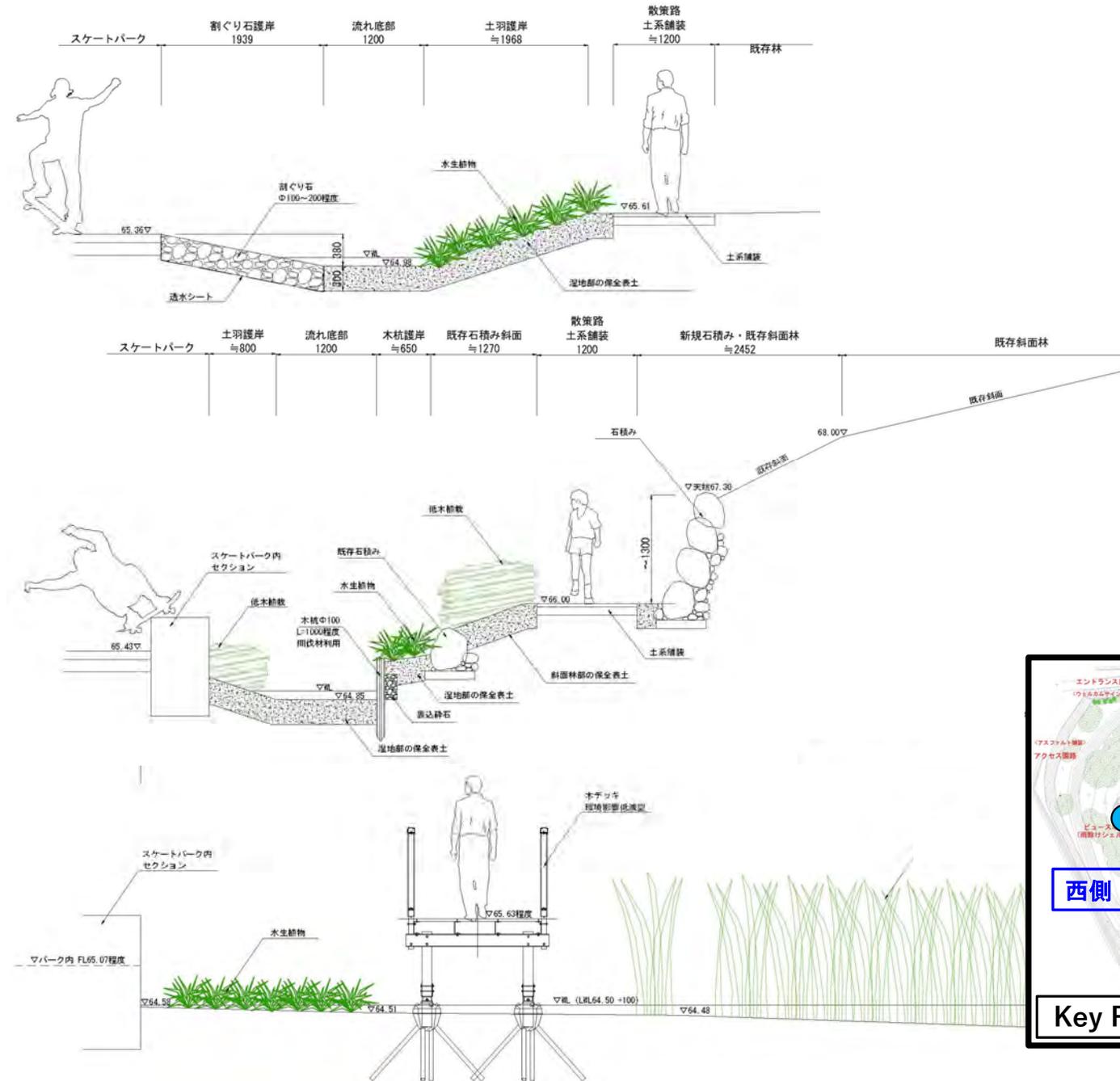
②休憩施設：四阿、ベンチ（周辺景観に馴染む色彩のもの）

③その他：園名板、案内板、夜間照明、映像設備など（周辺景観に馴染む色彩のもの）

流路（流れ）について

◆流路

調整池西側と北東側2箇所の流入口からの「流路（流れ）」を「多自然型の護岸」とし、希少種の湿性植物などの移植スペースとして計画する。
次頁の「水たまり」と併せて、環境面、修景面に配慮した施設とする。

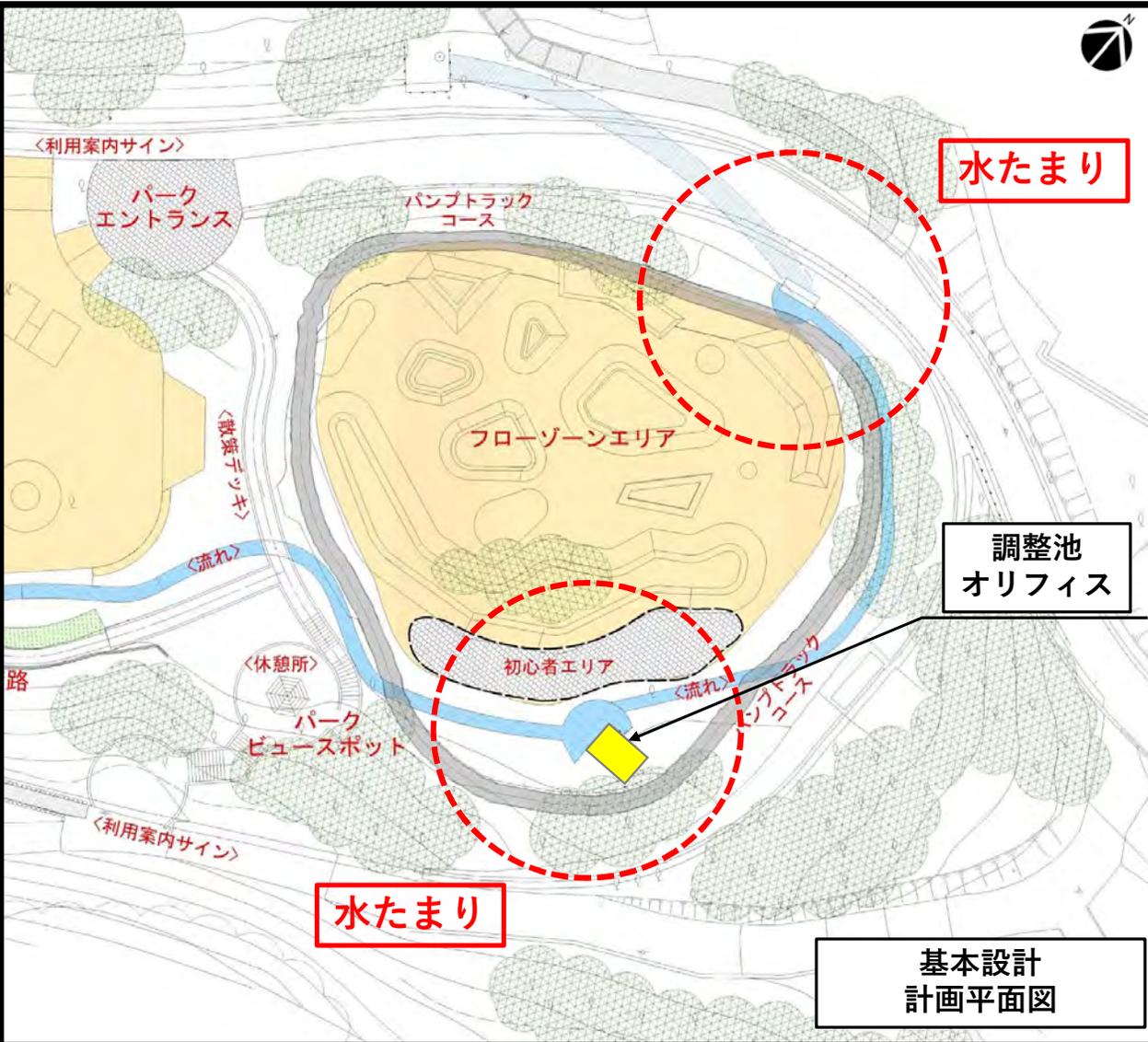


※図面は2024年11月時点のものであり、今後の設計で変更となる可能性があります。

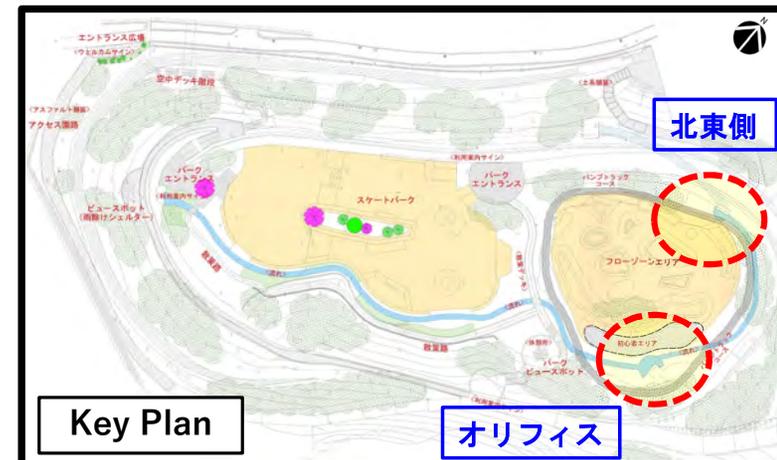
基本設計
施設詳細図

◆水たまり

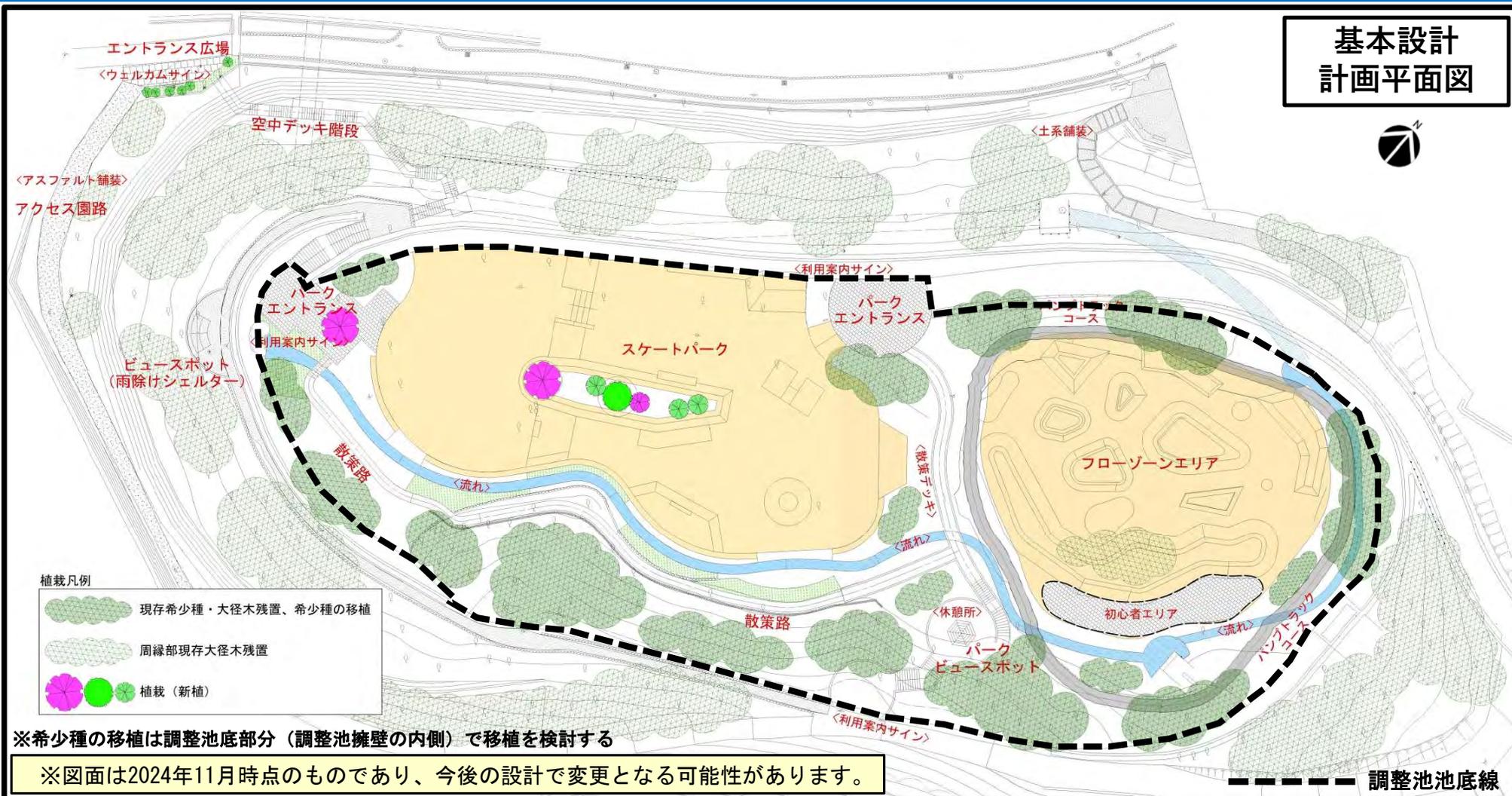
調整池オリフィスと調整池北東側流入口付近に「水たまり」を計画する。流路（流れ）からの流水を貯留し、希少種の湿性植物などの移植スペースとして計画する。前頁の流路（流れ）の多自然型護岸と併せて、環境面、修景面に配慮した施設とする。



※図面は2024年11月時点のものであり、今後の設計で変更となる可能性があります。

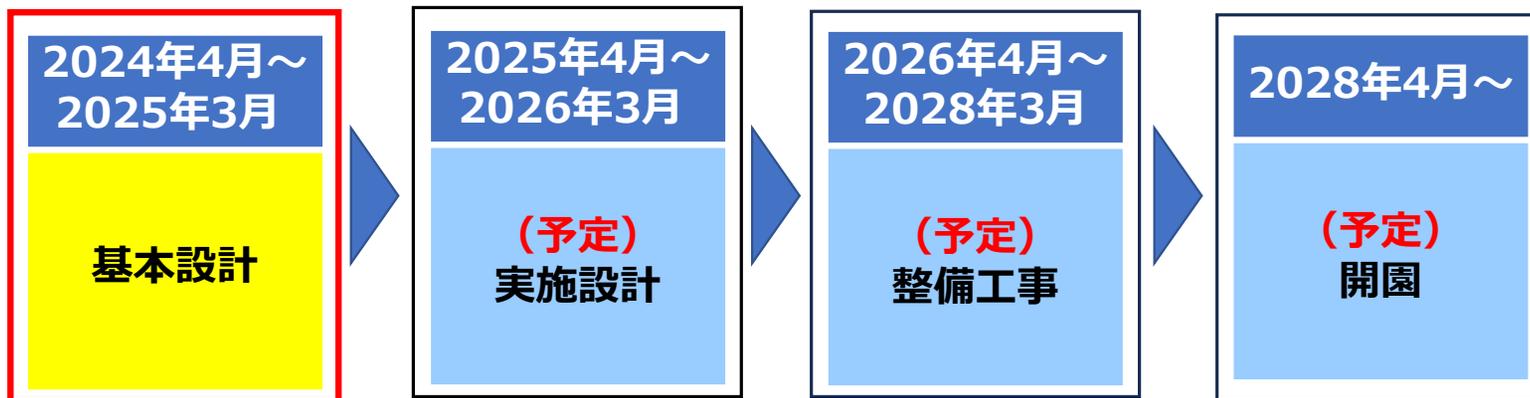


基本設計 計画平面図



◆緑地・植栽計画

- ・植栽マーク部分は、今回の整備により影響をうける希少種などの移植スペースとする。
 - ・周縁部の樹木（大径木）は必要最低限の伐採、下枝打ちに留める。
（工事に伴い一時的に伐採した樹木は、工事完了後に植樹等を行い現状（機能）復旧を図る。）
- 上記により、既存植物・樹木の機能復元を図る。
- ※上記以外の移植スペースとして、P13の「流路（流れ）」やP14の「水たまり」がある。



- ※ 「実施設計」は2025年4月～2026年3月の間に実施する**予定**です。
- ※ 「整備工事」は2026年4月～2028年3月の2か年の間に実施する**予定**です。